

庁議(政策会議) 案件申込書

申込日 平成30年 10月 16日

案件名	2020年東京オリンピック競技大会 自転車ロードレース競技の市内実施に伴う取組の方向性について													
所管	企画財政	局	企画	部	オリンピック・パラリンピック推進	課	担当者		内線					
	教育	局	生涯学習	部	スポーツ	課	担当者		内線					
概要	2020年東京オリンピック競技大会(以下「大会」という。)における自転車ロードレース競技(以下「競技」という。)のコース通過自治体として、(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下「組織委員会」という。)と協力しながら競技実施に向けた準備を着実に進めるほか、本市の魅力等を戦略的に活用・PRしながら大会時における盛り上げや大会後のレガシーの創出に向けて取り組むため、その方向性について合意形成を図るもの													
審議内容(論点)	組織委員会からの協力要請への対応について 競技実施を契機とした市独自の取組の検討について 想定レガシーについて 推進体制等について													
実施計画の位置付け	あり	施策番号及び実施計画事業名		施策19 生涯スポーツの振興「さがプロ2020推進事業」										
審議日	関係課長会議	平成30	年	9	月	20	日	政策調整会議	平成30	年	10	月	11	日
	局・区経営会議		年		月		日	政策会議	平成30	年	10	月	18	日
日程等調整事項	条例等の調整	なし	議会上程時期				報道への情報提供			なし				
	パブリックコメント	なし	時期				議会への情報提供			なし				
	審議会等、協議会等の設置	なし	個人情報の目的外利用等				なし							
検討経過等	関係部局名等		調整項目				調整状況							
	関係部局との調整													
	打合せ・会議の経過													
	月日	会議名等				内容								
	H30.7.18	さがプロ2020連絡調整会議				自転車ロードレース競技の市内実施に伴う取組の全体像について								
	H30.9.20	関係課長会議				2020年東京オリンピック競技大会 自転車ロードレース競技の市内実施に伴う取組の方向性について								
H30.10.2	事務事業調整会議				同上									
H30.10.11	政策調整会議				同上									
備考														
政策調整会議の結果等	原案を		上部庁議へ付議する。				(政策会議)							
これまでの庁議での主な意見	<p>【関係課長会議】 競技の実施に関連して、地域からはどのような意見をいただいているか。 コース公表前の説明会や「緑区内の大規模プロジェクト等に係る合同説明会」においては、競技の実施自体への意見はなかったが、今後における交通事故の増加を懸念する声があった。 来訪者の増加に伴う交通安全の啓発については、競技の普及やコースのPRとセットで行っていくのが良いのではないか。 新たにロードバイクに係る交通安全対策が必要となったという共通認識の下、連携しながら進める。</p> <p>【事務事業調整会議】 事業経費・必要人員については、今後精査されるという認識か。 いずれも、現時点で想定される内容を全て積み上げた参考値である。具体的事業の検討の中で十分に精査する。 本方向性に基づく具体的な事業の内容については、再度庁議に諮るのか。 さがプロ2020の枠組の中で検討実施していく予定だが、本方向性が変更となるような場合には再度庁議に諮る。</p> <p>【政策調整会議】 関係団体と連携する中では、市が担うべき役割に係るスタンスを持って取り組んでもらいたい。 具体的な事業の検討・調整に当たっては、市の財政負担の軽減や費用対効果に留意していきたい。 大会後において、関連施策の取りまとめを行う部署を設置する考えはあるか。 現時点では未定であるが、当面は関係部署が連携して取り組んでいく。</p>													

事案の具体的な内容

(1) 事案の概要

コース通過自治体として、組織委員会と協力しながら競技実施に向けた準備を着実に進めるほか、本市の魅力等を戦略的に活用・PRしながら大会時における盛り上げや大会後のレガシーの創出に向けて取り組むもの

ア 組織委員会からの協力要請への対応に係る調整

- ・ 競技実施に係る広報及び周知(協力依頼を含む。)
- ・ 通常行政サービスの範囲内における道路補修、メンテナンス及び清掃
- ・ (仮称)ロードレース沿道地域協力員の募集及び管理
- ・ 競技運営等に必要スペースの提供
- ・ 道路通行規制に対応した救急体制の検討及び競技車列への救急車の帯同

イ 競技実施を契機とした市独自の取組の検討

- ・ 大会前における機運醸成・コースPR
- ・ 大会時における盛り上げ
- ・ 大会後のレガシー(ハード・ソフト)につながる取組

【想定レガシー】

「競技の普及」及び「サイクルツーリズムの推進」

ウ 推進体制等

(ア) さがプロ2020の枠組みの中で、全庁横断的な調整・検討体制を構築し、具体的事業を検討

(イ) 大会終了後も持続可能な取組とするため、総合計画及び部門別計画への関連施策の位置付けを検討

- ・ 相模原市総合計画
- ・ 相模原市観光振興計画
- ・ 相模原市スポーツ振興計画
- ・ (仮称)相模原市自転車活用推進計画 等

エ 事業経費等

将来見通しの下で必要な財源・定数を確保し、大会終了(オリハラ課の廃止)後は関係部署において事業を継続【事業経費・必要人員】

2018年度	9,981千円	0名(既存人員内で対応)
2019年度	240,000千円	4名
2020年度	200,000千円	8名
2021年度以降	50,000千円	4名

【財源内訳】

一般財源(2020東京五輪・さがみはらプロジェクト推進事業)

今後、具体的事業の検討にあわせて事業経費・必要人員を精査。

東京都以外の開催自治体が負担する経費には、宝くじ収益金の一部が配分される予定。

(2) 事業スケジュール

取組分類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度以降
競技実施に必要な調整 (組織委からの協力要請)	コース決定	テスト	競技	
本市独自の取組 取組フェーズ (施策テーマ)	競技を知る	皆で連携し、 盛り上げる	将来に継承する	

(3) 財源等確保の考え方

- ・ 平成31年度に向けた「実施計画事業費・単年度要因等調査」及び「職員定数等要求調査」において要求中
- ・ 国際自転車ロード大会の実施に当たっては、実行委員会が企業等からの協賛金を募る方向で検討
- ・ サイクル利便施設(サイクルステーション)の整備等に当たっては、民間活力の導入を含め、最少の経費で最大の効果が挙がるよう様々な手法を検討

(4) 事業実施による効果

大会時における最高潮の盛り上がりを実現するほか、大会後のレガシーとして、競技の普及やサイクルツーリズムの推進につなげ、本市のスポーツ・観光の振興、シティセールス等に資する。

以上

第6回 政策会議 議事録

平成30年10月18日

1 2020年東京オリンピック競技大会 自転車ロードレース競技の市内実施に伴う取組の方向性について

(説明者：企画部長、生涯学習部長)

(1) 主な意見等

自転車ロードレース競技のコースとなる緑区において、地域活性化への期待が高まっていることを踏まえると、テストイベントの実施に向けても盛り上げの取組が必要と考える。

コース周辺地域においても競技に向けた盛り上げを推進していきたいとの声が挙がっている。行政として取組の方向性を示すとともに、民間企業等との連携を図ることで、地域の取組を後押ししてもらいたい。

盛り上げに当たっては、地域の方の協力が不可欠であると承知しており、連携を図りながら取り組んでいきたい。

国際自転車ロードレース大会の実施に当たっては、周回コースを設けるなどのにぎわいを創出するような工夫を図ってもらいたい。

にぎわいの創出に向けて、効果的な方法を検討していきたい。

現在も国道413号が土砂崩れで不通の状態であるため、オリンピックも見据えた復旧スケジュールの検討などでも連携させていただきたい。

承知した。

(2) 結果

原案のとおり承認する。

(3) 特記事項

なし

以上